



東 俣 野 3月号

東俣野小学校 学校だより 令和6年2月29日

“ 今年度を振り返って ”

学校長 幸保 陽子

一年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。今年度も残り一か月となりました。学習のまとめを行い、新しい学年に向かって充実した一か月にしたいと考えています。

さて、この一年間のお子さんの成長ぶりはいかがでしたでしょうか。身長や体重のように目に見える成長だけでなく、一年前の4月を思い起こすと、できるようになったことや頑張っって積み重ねてきたことがたくさんあったのではないのでしょうか。

昨年4月、「ソウ」と「サイ」の話をして、誰かに言われて行動するのではなく、自分から進んで行動する大切さを伝えたことを思い出します。この一年間、ICTを活用して自分の課題に「やるソウ」と意欲的に向き合い学びを進めていた姿、自分の考えを進んで伝えたり友達の考えを聞いたりする中で自ら学びを深めていた姿、友達が困っている時には積極的に声をかけ寄り添い励ましている姿など、様々な場面で子どもたちの成長を実感することができました。

本校の学校教育目標は「豊かなかかわりの中で、ともに輝く、ひがまたっ子」です。これを受けて、今年度は「主体的な学び」と「人との豊かなかかわり」に重点を置いて取り組んできました。

どの学年でも、発達段階に応じて、地域の材を活用して学ぶ「校外学習」を取り入れたり、まちの先生をお招きして出前授業を行ったりしました。こうした学習は、教科書で学ぶだけでなく、直接見て触れて、地域の人々と交流することになり、深い学びと理解につなげることができました。子どもたちは、より具体的に目標をもち、意欲的に学習を進めていました。また、たてわり班活動を充実させ、隣の特別支援学校との「ふれあい交流」を再開してきたことで、様々な人とかかわりあう機会が増え、素直に相手を認めたり、受け入れたりする温かい心を育むことができたのではないかと考えています。

最近では、5年生が進んで朝のあいさつ運動をしています。

「6年生はどんな時も下級生に寄り添ってくれた。そしてどんな時にも臨機応変に対応していた。だからこそ、私たち5年生も、下級生のために役に立ちたい。あいさつ運動を通して盛り上げていきたい。」

6年生の姿から学び、6年生からのアドバイスをしっかりと受け止め、一人ひとりが自分の役割を果たし、協力し合うことで共に成長することができているようです。

学校評価アンケートでは、90%以上の子どもたちが「学校が楽しい」と感じています。人との豊かなかかわりの中で、学校に楽しみを見出し、意欲的に学びに向かうことができたのではないかと思います。課題に対して積極的に取り組む意欲的な姿は、今後、自ら課題をもち自分の意志や判断に基づいて取り組む主体的な姿につながっていきます。来年度も、さらに主体的に学ぶ姿を求め、子どもたちの成長へとつなげていきたいと思っています。